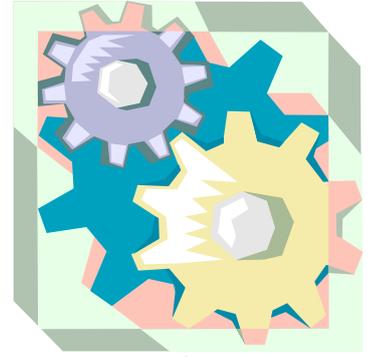


ウレタン樹脂塗料

ウレオール800



■ 特長

- ①塗膜の硬度が高いため傷つきにくく、耐摩耗性・耐汚染性にすぐれています。
- ②耐薬品性・耐酸性・耐アルカリ性・耐油性はウレオールシリーズの中で最もすぐれています。
- ③光沢と肉持感にすぐれています。

■ 用途

耐油性を必要とする工作機械・化学機械
瓦・スレート・耐薬品機器など

■ 容量

16kgセット(主剤 12.8kg N-3 硬化剤 3.2kg)

■ 標準塗付量

エアスプレー塗り 0.12~0.15kg/m²

■ 希釈率

エアスプレー塗り 30~40%

■ ポットライフ

8時間 (20℃)

■ 塗料性状 (白)

密度 (g/cm ³ /23℃)	混合物 1.24 (主剤 1.31 硬化剤 1.00)	
加熱残分 (%)	混合物 61 (主剤 64 硬化剤 49)	
引火点 (℃)	主剤 12	硬化剤 9
発火点 (℃)	主剤 480	硬化剤 427
消防法 危険物区分	主剤 第四類第一石油類	硬化剤 第四類第一石油類
有機溶剤中毒 予防規則区分	主剤 第二種有機溶剤等	硬化剤 第二種有機溶剤等
労働安全衛生法	SDS参照ください	

■ 乾燥時間

	5℃	20℃	30℃
指触乾燥(分)	30	10	5
半硬化乾燥(時間)	7	4	2
塗装間隔(時間)	24	6	4

■ 適応シンナー

ウレオール シンナー	目安	容量	蒸発速度		
No.1	冬用	16L	速い		
No.2					
No.3	春秋用 (標準)		標準		
No.4					
No.5				夏用	遅い
No.6					

■ 試験成績表 (白)

項目	試験条件	結果
鏡面光沢度 (60度)	80 以上	95
引っかき値	JIS K 5600-5-4 鉛筆法	3H
付着性	JIS K 5600-5-6 クロスカット法	分類O
耐アルカリ性	20℃20%水酸化ナトリウム水溶液に1ヶ月間浸したとき、異常がないこと	合格
耐酸性	20℃20%硫酸溶液に1ヶ月浸したとき、異常がないこと	合格
耐水性	20℃水道水に1ヶ月浸したとき、異常がないこと	合格
耐塩水性	20℃3%食塩水に1ヶ月浸したとき、異常がないこと	合格
耐沸騰水性	沸騰水に50時間浸したとき、異常がないこと	合格
耐候性	キセノンランプ1000時間照射で異常がないこと	合格
耐冷熱繰り返し性	-20℃×4時間~80℃×4時間を1サイクルとして20サイクル	異常なし

■ 塗装仕様書 (コンクリート構造物に塗装する場合)

工程	塗料名	塗装方法	希釈率 (質量%)	塗付量 (kg/m ²)	乾燥膜厚 (μm)	塗装間隔 (時間以上)
1	素地調整	ほこり・油分・遊離アルカリ分・水分などのない清浄な面にする。 (ph10 以下、含水率 10%以下)				
2	下塗り	エトン2100E プライマーCF 主剤 7:硬化剤 3 ポットライフ 10 時間	はけ エアレス 0~10 10~20 (専用シンナー)	0.15 0.19	30	15 (15 日以内)
3	中塗り	ウレオール800中塗 主剤 8:硬化剤 2 ポットライフ 8 時間	エアスプレー ローラー 30~40 10~20 (専用シンナー)	0.15 0.12	25	3 (7 日以内)
4	上塗り	ウレオール800 主剤 8:硬化剤 2 ポットライフ 8 時間	エアスプレー 30~40 (専用シンナー)	0.12~ 0.15	25	—

■ 塗装仕様書 (板金部材ならびにアルミダイキャストの防食塗装の場合)

工程	塗料名	塗装方法	希釈率 (質量%)	塗付量 (kg/m ²)	乾燥膜厚 (μm)	塗装間隔 (時間以上)
1	素地調整	脱脂してショットブラストを行い、錆・油分・水分・ほこりなどの異物のない清浄な面にする。				
2	下塗り	エトン2100HB プライマー 主剤 10:硬化剤 3 ポットライフ 8 時間	エアレス 5~10 (専用シンナー)	0.29	80	セッティング 10 分間後 120℃—20 分
3	上塗り	ウレオール800 主剤 8:硬化剤 2 ポットライフ 8 時間	オート エアスプレー 30~40 (専用シンナー)	0.15	30	セッティング 10 分間後 120℃—15 分
4	冷却	室温に放置し、40℃以下に冷えてから取り扱う。				

取扱い及び保管上の注意

密閉された場所での作業は、十分な局所排気装置をつけ適切な保護具を着用して行ってください。取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。よくフタをし、40℃以下で子どもの手の届かない一定の場所に保管してください。缶の持ち運びの際には、手環はグリップ部を正しく持ち、垂直に持ち上げる様に取り扱ってください。容器を切って使用する場合は、手を切る恐れがありますので保護手袋などを使用してください。本来の用途以外には使用しないでください。塗装缶はよく振った後開缶し、所定の混合比率で調合したのち十分に攪拌してご使用ください。硬化剤を混入したものは、ポットライフ内に使い切ってください。硬化剤は水分と反応しますので、使用時以外は密封して冷暗所に保存にし、水分の混入は絶対に避けてください。特に、梅雨時など多湿の場合は注意してください。

緊急時及び応急処置

容器からこぼれた場合には、砂などを散布した後に処理してください。また、容器などに付着した塗料はウエスなどで拭き取り、廃棄してください。皮膚に付着した場合は、多量の石けん水で洗い落とし、痛みや外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。蒸気・ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。目に入った場合は、多量の水で洗い、また誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けてください。火災時には、炭酸ガス・泡・粉末消火器を用いてください。

廃棄上の注意

廃塗料・塗料カス・廃溶剤・容器などの廃棄物は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」などの定めに基づいた処理業者に委託してください。

詳細な内容が必要なときは、安全データシート(SDS)をご覧ください。

川上塗料株式会社

特約店



本社	〒661-0001	尼崎市塚口本町二丁目41番1号	06-6421-6325(代)
営業所	仙台	024-959-4777	北日本 024-959-4777(代)
	東京	03-5661-1501(代)	金沢 076-231-1907
	浜松	052-501-8211	大阪 06-6421-6363(代)
	名古屋	052-501-8211(代)	広島 082-293-6868(代)
	九州	092-541-3461(代)	

ホームページアドレス

<https://www.kawakami-paint.co.jp/>

2208.1.1.S